

- 問1 九州地方には阿蘇山や桜島などの活火山が多く存在しますが、これらの火山活動による地下の熱を利用した発電方法を何とといいますか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
1. 地熱発電                      2. 水力発電                      3. 火力発電                      4. 原子力発電
- 問2 福岡県の工業構成の変化とその背景について説明したものととして、正しいものはどれですか。 (2023年 福島県公立入試 類似)
1. 古くから盛んな鉄鋼などの金属工業を土台として、その材料を利用する自動車などの輸送用機械の生産が近年拡大した。                      2. 内陸部でのIC（集積回路）生産が中心となり、臨海部に位置する北九州工業地域の金属工業の割合は極めて低くなっている。                      3. 海外からの輸入に頼る石油化学工業が急速に発展したため、金属工業や機械工業の出荷額は全国平均を下回るようになった。                      4. かつて盛んだった金属工業は完全に衰退し、現在は食料品工業と化学工業が県内の出荷額の大部分を占めている。
- 問3 日本の主な工業地帯・地域を比較した統計資料において、製造品出荷額の総額が約8.5兆円と他の大工業地帯に比べて規模が小さく、産業構成の割合が機械工業約41.1%、金属工業約17.9%、食料品工業約16.5%となっている工業地帯はどこですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
1. 阪神工業地帯                      2. 京浜工業地帯                      3. 中京工業地帯                      4. 北九州工業地帯
- 問4 九州地方に位置する宮崎市の気候について、降水量が多くなる背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。地形や風の影響に着目して答えなさい。 (2023年 岡山県公立入試 類似)
1. 夏季に太平洋から吹き込む湿った季節風が九州山地に遮られ、上昇気流が発生して雨を降らせるため。                      2. 瀬戸内海沿岸と同様に山地に囲まれているため、季節風の影響を受けにくく、年間を通して降水量が少ないため                      3. 年間を通して大陸からの乾燥した季節風が吹き込むが、黒潮の影響で雲が発達しやすいため。                      4. 冬季に日本海から吹き込む冷たく湿った季節風が九州山地にぶつかり、雪や雨を降らせるため。
- 問5 宮崎県では、農業産出額の約3分の2を畜産が占めています。このように宮崎県で肉用牛、豚、鶏などの飼育が盛んになった背景として、土地の性質に触れた説明として最も適切なものを選びなさい。 (2024年 茨城県公立入試 類似)
1. 冬でも温暖な気候を利用して、家畜の飼料となる穀物を二毛作で大量に生産できる環境があったため。                      2. 大消費地である東京から遠いため、野菜よりも保存や加工しやすい畜産物の生産に力を入れた。                      3. 平野部が少なく耕地面積が限られているため、狭い土地でも効率よく収益が上がる畜産業に特化した。                      4. シラス台地が広がり水持ちが悪く稲作に適さない土地が多いため、広大な土地を活用した畜産が発展した。
- 問6 九州地方の地理的環境とエネルギー産業について述べた次の文のうち、大分県の特徴について背景を含めて説明したものととして、正しいものはどれか。 (2024年 愛知県公立入試 類似)
1. 阿蘇山などの火山帯に近い地理的条件を背景に、地下の蒸気を利用した地熱発電が発達し、全国有数の発電量を誇っている。                      2. リアス海岸が続く複雑な海岸線を活かして、大規模な風力発電所を建設し、製造品出荷額の大部分をエネルギー産業が占めている。                      3. 南九州に位置する地理的条件から、地熱発電よりも日照時間の長さを活かした太陽光発電が産業の中心となっている。                      4. 筑後川の下流域に広がる平野の地質を活かして、地熱発電よりも米の二毛作や麦の生産を優先して行っている。
- 問7 九州地方北部の福岡県から佐賀県にかけて広がり、有明海に面している広大な平野があります。この平野は九州最大の稲作地帯として知られていますが、その名称として正しいものを選びなさい。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 筑紫平野                      2. 熊本平野                      3. 仙台北野                      4. 宮崎平野
- 問8 北海道の洞爺湖の近くにある有珠山は、たびたび噴火を繰り返す活火山ですが、周辺地域では火山と共生したまちづくりが行われています。火山が地域にもたらすマイナスの影響とプラスの影響を考慮したとき、適切な説明はどれですか。 (2023年 茨城県公立入試 類似)
1. 火山灰による農作物への被害や噴火災害の恐れがある一方で、温泉や美しい景観が観光資源となっている                      2. 噴火によって流出した溶岩が平坦な土地を作るため工場誘致に有利だが、火山ガスの影響で精密機械の製造が困難である                      3. 火山活動によって土地が肥沃になり稲作が飛躍的に発展したが、地熱によって周辺の気温が上がりすぎる弊害がある                      4. 火山灰が降り積もることで大規模な森林が形成され林業が盛んになるが、山火が発生しやすいリスクがある
- 問9 九州南部に広がるシラス台地は、その土壌の性質から水持ちが悪く、かつては稲作を行うことが困難でした。このような自然環境を背景に、この地域で特に発展した農業の形態として最も適切なものはどれですか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
1. サツマイモや茶の栽培、および豚や肉用牛の畜産                      2. 水に恵まれた環境を活かした二期作による稲作                      3. 冷涼な気候を利用したレタスやキャベツの高原野菜栽培                      4. 果樹園でのリンゴ栽培と、大規模なブドウの生産
- 問10 九州地方における各県の製造品出荷額等の統計において、福岡県の出荷額は約8.5兆円、大分県は約4.6兆円、九州全体では約23兆円となっています。これらの数値から読み取れる九州地方の工業の特徴として適切なものを次の中から選びなさい。 (2018年 香川県公立入試 類似)
1. 長崎県は、古くからの造船業が集積しているため、半導体関連の工場が多い熊本県よりも製造品出荷額等が多くなっている。                      2. 福岡県は、九州地方全体の製造品出荷額等のうち3分の1以上を占めており、大分県と合わせた上位2県で九州全体の半数を超えている。                      3. 九州地方の製造品出荷額等の合計は、全国合計の約307兆円に対して20%以上の割合を占めており、中京工業地帯を上回る規模である。                      4. 宮崎県は、広大な農地を活かした食料品工業が非常に盛んであるため、九州各県の中で製造品出荷額等が最も多い。
- 問11 日本の各都道府県の統計において、長崎県は「面積が全国37位であるのに対し、海岸線の長さが全国2位である」という極めて特徴的な数値を示しています。この事実から推察される長崎県の地理的状況として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
1. 筑後川の下流に広がるような広大な平野をもち、海岸線には砂浜が単調に続いている。                      2. 県全体が一つの大きな半島であり、海岸線のほとんどが岩場のない滑らかな曲線である。                      3. 山地が海岸近くまで迫っているが、海岸線自体は隆起によって直線的な形状を保っている。                      4. 岐枝・対馬・五島列島などの離島を多く抱え、本土もリアス海岸のように屈曲に富んでいる。
- 問12 宮崎県において、きゅうりなどの生産にビニールハウスなどの施設を用いた農業が積極的に行われている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
1. 土地の傾斜を活かして、機械による大規模な農作業を効率化するため                      2. 他の地域からの出荷が少なく、市場での取引価格が高い時期に合わせて出荷を行うため                      3. 冷涼な気候を利用して、他の地域が収穫を終えた後の時期に出荷を遅らせるため                      4. 大都市の近郊という立地を活かして、輸送コストを抑えながら新鮮な野菜を届けるため